

障害者支援施設 障害者福祉センター厚和寮

1 基本方針

障がいのある方に対し、快適な施設生活が送れるよう介護サービス提供の充実を図ると共に、地域や家庭での新たな生活に向けて安心して移行できるよう支援を行う。

また、在宅の障がい者に対しては安全安心な日中活動の場所を提供し、ケアマネジメントの手法を活用して社会リハビリテーションを中心とした各種サービスを提供し、地域生活に必要な社会生活力を高めると共に地域資源との連携の中で自立と社会活動への参加を目指した支援を行う。

2 今年度重点事業目標

(1) 令和9年度当初スタートを目途に、入所機能のグループホームへの体系移行を行う。

ア 利用者ひとり一人が納得のできる移行先の選定を行う

・利用者、家族に確かな情報提供と意思決定支援を行い、より満足度の高い支援が受けられる環境を提供する

イ 安心して地域移行（グループホーム）できるよう、近隣住民の理解浸透を図る。

ウ 法人内施設の稼働状況や特色を理解し、当寮利用者ひとり一人の特性を勘案しより良いマッチングを目指す

エ 移行先は法人内施設に限定することなく幅広く、利用者ひとり一人がより満足度の高いサービスが受けられることを基準に選定を行う

オ 設計業者・法人本部と連携を密に、様々な障害に対応しやすい住環境の建設を目指す

(2) ひとり一人の自己実現を目指したサービスの提供

ア 個別支援計画に基づき、サービスの提供状況や目標の達成状況を毎月確認し、次期計画に反映させPDCAサイクルを機能させる。

イ 医療機関との連携を強化し、異常の早期発見・早期治療に努める。

ウ 「多職種連携」を合い言葉に、支援・医務・訓練・心理士・調理等各部署間によるチームケアの実践を図る。

エ 個別リハビリに加え、集団リハビリを取り入れ、集団による相互作用と、利用者間の親睦の相乗効果を目指す。

オ 旧来の作業療法士のリハビリ訓練に加え理療士の施術を行うことで、西洋医学と東洋医学のアプローチの相乗効果によるリハビリ効果の向上を目指す

(3) 地域共生の土壌作りに努める

ア 実習・ボランティア・研修・見学などの受け入れを行い、施設や障がいに対する理解を促し、地域共生の土壌作りに努める。

イ 「地域生活応援プロジェクト」の取り組みを通所利用者に限定し、暮らしの安定とより豊かな地域生活を目指した援助を行う。

ウ 虐待・緊急案件等の社会的入所を積極的に受け入れることで、鳥取市等の地域生活拠点整備事業の推進に寄与し、自施設の社会資源としての機能を高める。

エ 「鳥取市自立支援協議会」に参画し、入所施設の立場から福祉ニーズや地域課題などの意見や要望を積極的に発信する。

(4) 働きやすい職場作り

ア 厚和寮基本方針・倫理綱領の浸透と実践を進める。

イ 「厚和寮支援の心得」の浸透を図り、対人援助技術の向上と職員のメンタルヘルスを行う。

ウ 復命研修・寮内研修を充実させ、志の高い職員集団を目指す。

(5) 経営改善

グループホームへの体系移行期間年度ではあるが、経営安定のために可能な限り高い稼働率を維持しながら利用者の円滑な他施設、GHへの移行を進める。

[目標稼働率：生活介護 53%、施設入所 62%、短期入所 17%]